

三面  
小川  
きらきら  
光る

# 小川小学校

HP:<http://ogawa-e.murakami.ed.jp>

小川小日記



## 言葉で伝えることの大切さ

校長 佐久間 義久



皆にアドバイスします

「きらきら光る小川小大運動会」は、雨天順延を経たものの、当日は汗ばむほどの陽気の中、手前味噌ながら、成功裏に終わることができました。子供たちが見せた「本気度」と「凛」とした姿には本当に感動しました。賛辞を贈りたいと思います。

子供たちは、行事を経るごとに成長します。それは、自分に掛かる責任を感じ、乗り越える努力をするからです。特に、運動会練習ではそんな場面が随所にあります。応援団幹部は、どうしたら皆の動きが大きくなるだろうか、どうしたら声が大きくなるだろうか、と、真剣に話し合い応援団員に言葉で伝えます。よさこいリーダーも同様です。自分で考えたアドバイスを、練習前、練習後とチームに伝えます。そして、チームは大きな声で返事を返します。自分の言葉が伝わったと実感できる瞬間です。それでも、本番までは一進一退を繰り返しますが、本番はご覧いただいた通りです。鳴子がよく響く、動きの大きな演技となりました。リレー練習でも、リレー走順やリレーの仕方の工夫を何度も話し合いました。言葉で伝えることで変わっていくことを実感できるそれぞれの場面でした。

一つの行事を終え、一層自信を高めた小川っ子の活躍が楽しみな秋です。



「どうする？」相談中です。



両軍団長の渾身の旗振りです。皆を鼓舞しました。

### 令和6年度全国学力学習状況調査（調査対象6年生）の結果について

- ① 国語は、全国や県平均を大きく上回る（全国比7.3%↑）結果でした。特に「話すこと・聞くこと」「読むこと」が大きく上回りました。その一方、「書くこと」では課題が見られました。要約する力や、目的に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりする力を付ける必要があります。
- ② 算数は、全国や県平均を大きく下回る（全国比-3.4%↓）結果でした。特に「立体図形」の特徴や性質、「速さ」の概念が未定着であることが分かりました。未定着領域の復習強化をする必要があります。また、最後まで解こうとする姿勢は備わっているものの、検算や見直しをあまりしない実態も分かりました。各教科も含め、見直しや推敲する態度を身に付けさせていきます。
- ③ 家庭学習を毎日1時間以上している児童が75%以上で、その内約20%は2時間以上しています。家庭学習の確保は、学習事項の定着には欠かせません。計画的に家庭学習するように促していきます。また、メディアの時間も依然として多い状況です。繰り返しメディアコントロールを促します。
- ④ 新聞を週に1から3回以上読む児童は、全国や県平均を大きく上回る結果でした。新聞は社会的な知識もさることながら、論理的な思考力を身に付けることが期待できます。







# 10/6(日)「きらきら光る」小川小大運動



<グラウンドのコンディションも整い、さわやかな秋晴れの下、大運動会が開催されました。>



1~4年生による「よさこいソーラン」、4年生のリーダーの下、練習の成果を発揮し、自信を持った堂々たるキレのあるカッコいい踊りを披露しました。

5・6年生による「朝日三面川太鼓」の演奏。練習を積み重ねて自信を深めてきた子どもたちは、勇壮な姿を披露し感動を与えてくれました。



応援合戦。赤組・白組とも応援賞を目指して、応援団の指揮の下、一生懸命練習を重ねてきました。精一杯声をからして大きな声を出しました。両組に応援賞をあげたいくらい素晴らしかったです。



下学年は、選んだ旗と校長先生が選んだ旗が同色だったら前に進める興味走でした。上学年は、いろいろなボールを持って走る興味走でした。下学年団体種目の大玉コロコロは、抜きつ抜かれつの好勝負となりました。上学年団体種目の綱引きは、カの入った熱い戦いとなりました。



下学年(1~3年生)リレーは、どのチームも精一杯の力を尽した熱戦となりました。リングバトンをとさないように気を付けて、上手に渡しました。たくさんの声援を受け、どの子も張り切って走りました。

上学年(4~6年生)リレーは、さすが上学年のレースで、スピード感・疾走感があふれていて、会場の応援にも力が入っていました。どのチームも最後まで全力を尽くして走りました。



今年度は、赤組の優勝、赤組の応援賞で幕を閉じました。勝敗にかかわらず、全員が力を出し切り、お互いの健闘を称えあう素晴らしさを感じられた運動会でした。地域の皆様、保護者の皆様熱い応援をありがとうございました。



当日まで、後援会・まち協・PTA・長寿大学等たくさんの皆様に、グラウンドの除草作業をしていただいたお陰で、最高のコンディションで運動会を開催できました。ご協力いただいた皆様に厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。